

2021年8月10日

株式会社三菱UFJ銀行

オリヅルセラピューティクス株式会社への出資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、次世代の産業育成および本邦経済のグローバルでの競争力強化への貢献を主たる目的として、今般、「オリヅルセラピューティクス株式会社」（以下 OZTx）への出資（以下 本出資）を決定いたしました。

2015年、京都大学 iPS 細胞研究所（所長 ^{やまなか しんや}山中 伸弥、以下 CiRA（サイラ）^[1]）と武田薬品工業株式会社（代表取締役社長兼 CEO クリストフ・ウェバー、以下 武田薬品工業）は、iPS 細胞技術の実用化研究を加速させ、再生医療の社会実装や創薬開発に早期に繋げることを目的とし、共同研究プログラム T-CiRA^[2]の実施に合意しました。このたび、T-CiRA プログラムにおける iPS 細胞治療プロジェクトにおいて非臨床試験での有効性が検証されたことに基づき、2021年4月に京都大学イノベーションキャピタル株式会社（代表取締役社長 ^{くすみ こう}楠美 公、以下 京都 iCAP）^[3] と武田薬品工業が協働して OZTx を設立しました。OZTx は、iPS 細胞由来の再生医療等製品の開発事業と iPS 細胞技術の利活用事業に特化した研究開発型企業として同年6月1日より業務を開始し、「科学の無限の力で 世界により良い健康への希望をもたらす」というビジョンを掲げ、日本で生まれ育った iPS 細胞を通じ、社会と患者さまへ再生医療を届けるために、細胞治療製品および革新的な iPS 細胞関連技術の社会実装を推進しています。

近年、ライフサイエンス分野（以下 LS）は社会課題としての少子高齢化への対応、健康長寿社会の実現において極めて重要なテーマとなっています。当行は幅広いネットワークや顧客基盤、高度な金融サービスを活かし、本出資を通じて、iPS 細胞技術の事業化・社会実装、また新産業の育成を支援してまいります。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFG）は、持続可能な環境・社会実現に向けて、新たに制定した存在意義「世界が進むチカラになる。」を起点に、世の中からの期待と、MUFGの事業領域との親和性の両面から優先課題の見直しを実施し、優先的に取り組む10課題を特定しました。本出資を通じて支援するLS分野の新産業育成支援は、10課題における「健康への脅威の克服」、「産業育成・イノベーション支援」の中で重点領域に位置づけています。

[1] 京都大学 iPS 細胞研究所（CiRA）の詳細は以下をご参照ください。

<https://www.cira.kyoto-u.ac.jp/>

[2] T-CiRA の詳細は以下をご参照ください。

<https://www.takeda.com/jp/what-we-do/t-cira/>

[3] 京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）の詳細は以下をご参照ください。

<https://www.kyoto-unicap.co.jp/>

当行は、次世代の産業の一翼を担うベンチャー企業に対する安定した支援を継続することで、中長期的な環境・社会課題の解決やお客さまの持続的な成長を後押ししてまいります。

<本件の概要>

名称	オリヅルセラピューティクス株式会社（代表取締役 <small>のなか けんじ</small> 野中 健史）
事業内容	1. 細胞移植による再生医療等製品の開発 2. iPS 細胞関連技術を活用した、創薬研究支援および再生医療研究基盤整備
出資者 （予定者含む）	京都大学イノベーションキャピタル株式会社、武田薬品工業株式会社 株式会社三菱 UFJ 銀行、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社、株式会社メ ディパルホールディングス、三井住友ファイナンス&リース株式会社、三井住友信 託銀行株式会社、日本ベンチャーキャピタル株式会社
ホームページ	https://www.orizuru-therapeutics.com/

以 上